



クラブ 会報

CLUB BULLETIN (WEEKLY)

鶴岡ロータリークラブ

TSURUOKA ROTARY CLUB

D-253

創立 S 34.6.9

承認 S 34.6.27

例会場	鶴岡市馬場町	物産館3階ホール
例会日	毎週火曜日	12:30-13:30
事務所	鶴岡市馬場町	商工会議所内
		電話 0235 225775

会長	三井	健助
幹事	山口	篤之郎
会報委員	新藤	光一
	鷺田	幸雄
	安藤	定助
	安嶺	光吉

No., 1006

1979. 5. 8 (火) (雨)

No.43

ウィンター紹介

旅河正美君	弁護士一藤沢R.C		
斎藤順君	日本酒小売一温海R.C		
佐藤成生君	金物配布	三浦正志君	自動車車検 製めん 鶴岡西R.C
石寺龍象君	生命保険	松田善三郎君	
阿宗健一郎君	管工事	半田茂弥君	
		石油配布	

会長・幹事報告

1. G.S.Eの受入れの結果について報告
2. 20周年記念慰労会開催
日時 5月12日(土)午後6時より
場所 ホテル 山王プラザ
会費 2,000円(当日持参)
3. 鶴岡ライオンズクラブの5周年記念に招待受ける。

REACH OUT...

手をさし伸べよう...

(1) 例会場所・時間変更のお知らせ

鶴岡西R.C来る5月11日(金)の例会は孟宗汁例会の為
と き 5月11日(金) P.M 5:30
ところ 湯田川温泉 七内旅館
登録料 4,000円

(2) 会報到着 台中港区R.C 藤沢R.C

委員会報告

◎山菜と生そばを食べる会開催

親睦委員会

1. 日時 5月20日(日)午前9時 鶴岡産業会館前出発
2. 場所 温海町大字関川(金沢屋旅館)
3. 登録料 会員・家族 お1人1,000円

5月22日(火)の例会、5月20日に変更になります。

本年度最後の親睦家族会でございますので会員・ご家族多数ご参加下さるようお願い致します。

◆ ス ピ ー チ

歯科医療の今昔

会 員 石黒慶之助君

歯を失うことはまことに淋しいことです。嚙む力が失われ、言葉が洩れるばかりでなく、急に老化現象が起ったような気持ちになります。食物摂取の第1関門である口の中の歯は消化作用に重大な臓器であり、歯を失う時は、人間以外の動物はすべて死に直結しております。しかし人間は知恵がありますので歯医者のいなかった昔でも食物を加工したり、器具を使って細断したり、或はお粥とすとか、流動物にして寿命を延長することが出来たと考えられます。

昔の入歯について考える前に、現代の歯科医学は何時頃から始ったのか、どうして発展して来たのか。

現代の歯科医学の歴史は非常に浅いのです。日本では明治の末期(明治39年)歯科医師法が制定され、歯科医師の教育機関が発足してから発展したわけであり、せいぜい70年位の歴史であります。これはロータリーの創立と年代が殆ど同じであります。それ以前は、一般医との区別なく耳目口科(文化改新頃)、口齒科(平和時代)、口中科(安土・桃山以降)の名称で上流階級の方々に歯の施術がなされていたようです。江戸時代に入り庶民の歯の治療として歯抜き、大道芸人、入歯師などが現われた。そして明治18年、入歯歯抜口中療治営業取締規則が布建され、歯科医師の前身たる町歯医者がポツポツ現われる。鶴岡町に

も明治30年代になると上野裕、町野重治、竹沢保、阿部寛などの所謂徒弟制度による歯医者が開業したようです。

しかし、現代歯科医学は明治39年5月歯科医師法が施行され、歯科医師の教育機関が発足してから発展するのです。歯科医師の教育機関は国家の支援なく民間の手にまかされて、その後20年間は全く等閑され、国では昭和4年になって初めて現在の東京医科歯科大学の前身たる東京高等歯科医学学校が創立した。換言すればわが国の近代歯科医学は国家の援助なく民間の手によって導入され、発展したところに特色があります。

大正4～5年になって学校出の歯科医学士とし赤松時一郎、前田直矢、石黒慶蔵が羽前国鶴岡町で初めて西洋風の歯科医師として開業しております。それから65年間の歯科学の進歩は目に見えて素晴らしいものがあり、特に最近10年間位の変化は一般医学と共に歯科医学の進歩は非常に顕著なものがあります。

数ヶ月前のロータリーの友に藤公房という方が「武将の定命」と題し興味深い記事が載っていました。その一部を紹介します。

「人生わずか50年」という古語があるが、戦国時代の武将の寿命はどの位かと考え、武将100名をとりあげ、その中から戦死したり、自殺、刑死者などを除き、病死した方61名の平均定命を調べてみた。その結果は意外にも高齢で69.16才であった。そのうち80歳以上の長命の方を死亡順に挙げれば、北條早雲88才、尼子経久84才、竜造寺家兼93才、土岐頼芸82才、北條幻庵97才、鍋島直茂81才、島津義弘85才、蜂須賀家政81才、宇喜多秀家83才などであった。なお毛利元就75才、徳川家康75才、細川幽斎77才なども見られた。

私はこれらの方々は今から4～500年前に活躍された武将でありますが、彼等英雄達の歯はどうだったろうか。最後まで丈夫な歯だったろうか、入歯は使ったかどうか、どんな入歯だったろうか、などと考え非常に心配しております。

現代の歯科医療からは想像に絶する不完全なもので、ものの用に達したか怪しい。忍耐強く顎の方で義歯に合せようと努力しながら使ったものと想像されます。

現存する日本最古の義歯は柳生飛騨守冬宗(1675年死亡)の義歯であり、西洋医術の入らなかった1600年代、歯科医療の貴重な資料となっています。義歯の床はツゲの木であり、歯は鹿の角をはめ込んだものだそうです。その他、江戸時代から明治初期にかけて種々な義歯がありますが、これもまことに幼稚であり、残った歯に金属をかぶせたり、はめ込んだりする技術を知りませんので義歯の床は木製、歯は蠟石とか馬骨とか釘などを植え込み、残っている隣の歯へ麻糸などで結んで使うようになったものもあります。こんな義歯で食物を噛めたでしょうか？ 歯を抜くにしても麻酔薬の有効なものが無かったので大変痛かったと想います。

話は先ほどの戦国の武将の定命に返えしますが、平均寿命が70才とは驚いてしまいます。さすが名だたる強者と感心しますが、その当時だって虫歯や歯槽膿漏はあったと思いますし、歯が無くなった方は顎だけで噛んでいたのではないのでしょうか？

私共が現在真剣に智恵をしばり最新の医術と最高の器械と材料を駆使して作った義歯でさえ、健全な歯に比べれば10分の1位の機能しか発揮出来ません。まして300年前に作られた不完全きわまりない義歯はとても実用に供される代物とは考えられません。勿論生き残りの名だたる武将は強健な身体を持ち主だったのでしょうし、虫歯や歯槽膿漏も現代人よりも少なかったと想像されます。それにしても現代のような歯医者にかかることもなく長生き出来た事実を知り、吾々現代の歯科医師が人間の健康にどの位貢献しているのか疑わしくなってきました。ロータリーでは綱領の中で自己の職業の道徳的水準を高めること、あらゆる有能な職業は尊重さるべきであるという認識標榜しているが、われわれ歯科医師はこの点からも反省を求められるように思われます。

いずれにしても、西洋医学の発達は20世紀に入ってから急速に発達し、特にここ20年間には素晴らしい進歩が見られます。歯科医学は今後更に専門分野に分かれ、今までの百貨店的な開業制度は専門医制度に変わって行きましょう。現在でも小児歯科とか歯列矯正科の標榜が許されていますが、更に口腔外科とか歯槽膿漏科とか歯冠修復科、有床義歯科（補綴科）、歯科保存科などと専門医制度が拡充されるものと思われます。

◆ 20周年記念行事祝宴委員会

祝宴委員長 中江 亮君

祝宴関係について御報告申し上げます。昨年8月から数回に亘って論議され、検討された記念行事の大綱が煮詰ったのは今年の2月中頃で、時間的にも焦りが出て来たのでありますが、愈々実行に取りかかって見ると祝宴委員会の諸準備は式典委員会や接待委員会の準備と関連する内容が多く、ゲストの変更、ビジターの追加等で私たち委員が折角作ったプランやリストが次から次へと修正を余儀なくされ、夢に描いた格調のある祝宴会場の設営プランも当初の見込みを大きく上廻った253名の参加人員であった為、狭い会場では如何ともしがたく意の盡ならなかったのであります。

之に加えて式典会場と祝宴会場が分れていた為、私たちの仕事が複雑多様になり案内・会場・音響の3つにグループ分けをして夫々が互いに調整を加え乍ら準備を進めたのであります。

先ず第1に前例のない5,000円と云う低額の登録料で参加されるビジターの方々、及び遠近の御招待者の方々から如何に喜んで頂けるか、“不評を買うような失敗は20年の歴史の重さとクラブの名誉が許さないだろう”と云うきびしい覚悟で取り組んだ事でありました。知慧者ぞろいの委員の方々から数多くの素晴らしいアイデアと要望が出されたのでありますが、既に総務委員会で決定された骨子でもあり私たちはその枠内で如何に肉付けをして盛り上げて行くかに力を注いだのであります。

前夜祭（姉妹クラブ歓迎パーティ）との関連、花見でゴッタ返えすだろう日曜日の鶴岡公園、雨が降った時の誘導、設営の方法、狭い会場内で接待するのに礼を失しない方法？鹿児島西、台中港区 R.C の皆様を当クラブ会員だけで独り占めにして良いだろうか、すべての参加ロータリアンに交流のチャンスを与え、友情のおすそ分けをする方法？等々、書き立てれば尽きない私たちの目立たない苦心がありました。

或いは仕事を会社や自宅に持ち帰ってする方、或いは天気予報を念入りに調べる等、諸般の準備が整った前夜の雨風に驚かされて一夜まんじりともしなかったのでありますが、それも幸いにして杞憂に終わり会場では窓外に咲き誇るさくらの花を眺め乍ら盃を傾け酒を汲み交わす和やかな雰囲気が増えて一おの感激を覚えたような次第であります。

鶴岡土曜会合唱団のコーラスに始まり、声楽家の名で通る三井健会長の美声に終わる迄の間、遠くは南の国、近くは分区内各クラブの民謡の披露等正に素晴らしい熱演でありました。

さすが“沈黙を以て貴となす”黒沢地区ガバナ―も促されて遂に登壇され、その美声が会場の隅々に流れた時、祝宴のムードは最高潮に盛り上がったのであります。

こうした余興の数々はすべてその場ズバリのものでありますが未だにその余韻が残っているような気が致します。

午後2時50分、不思議な魅力を持つロータリーソングを声高らかに合唱して参加者は手に手つないでお帰りになりましたが、永久に記念すべき“友愛の泉”の前にて台中の友を送り、続いて大勢の方が鶴岡駅に鹿児島の友をお送り申し上げて、20周年記念行事は恙なく有始有終の美しい幕を閉じたのであります。

いろいろな難しい制約の中で私たちは精一杯努力をしました。幸いにして大過もなかったと思いますが、それも偏えに私たちの先役を務められた接待・式典及び記念誌・記念事業の各委員会のご努力と演出のすばらしさの賜ものであり、且又この日の為に咲いてくれた鶴岡城址のさくらの花のおかげであったと深く感謝しております。

以上お礼を兼て御報告と致します。

◆ スマイル

事務所改築 新穂光一郎君

出席報告

本日の出席	会員数	70名	欠席者	阿部(与)君、早坂(源)君、早坂(徳)君、半田君、黒谷君、小松君、三井(賢)君、三浦君、森田君、佐藤(昇)君、佐藤(忠)君、佐藤(友)君、鷺田君、高橋(良)君、金沢君、渡会君、宮沢君、熨斗君、石原君
	出席数	51名		
	出席率	72.86%		

前回の出席	前回出席率	70.00%	メア ッ クブ	笹原君—仙台R.C 五十嵐(三)君、秋野君、黒谷君、川村君、中村君、迎田君、宮沢君—鶴岡西R.C
	修正出席数	57名		
	確定出席率	81.43%		